

西胆振地域連携研修・法人内研修 実施報告書

研修名	非常勤ケアワーカー研修（洞爺湖・豊浦）
------------	----------------------------

対象者	非常勤（パートタイム）で働く介護職員
日程	平成30年8月21日（火）
会場	ふる里の丘総合福祉館 ふれあい広場



研修のねらい	
研修参加の機会を作ることが難しい非常勤（パートタイム）で働く介護スタッフが参加しやすいよう、約半日のプログラムに、介護スタッフとして理解しておきたいポイントを凝縮しました。また、他の事業所の職員との意見・情報交換の機会としても活用ください。	

研修プログラム				
時間	研修科目	講義形式	講師	研修内容
10:00～11:30 (90分)	理念と職業倫理の重要性の理解	講義・演習	ケア) ふる里の丘 福澤施設長	理念の理解、そして援助者の基本態度や秘密保持、利用者の主体性、人権の尊重、専門性の向上など介護職員として必要な職業倫理について、学びます。
12:30～13:00 (30分)	身体的拘束等の適正化と高齢者虐待防止	講義・演習	特養) 幸豊ハイツ 沼田施設長	2018年4月の介護保険法の改正により、身体的拘束等の適正化と高齢者虐待防止について、その背景と改正点について学び、改めて身体拘束とは何か、介護の専門職として適切な介護サービスについて学ぶ。
13:00～14:00 (60分)	利用者の安全な生活とは～リスクを捉え、より良いケアをすすめるために～	講義・演習	ケア) ふる里の丘 佐藤生活相談員	日常生活場面で起こりうるリスクを洗い出し、日々の支援の中で自身がどのような役割を担うことが事故の発生予防や事故発生後の迅速かつ適切な対応につながっていくかを理解する。
14:10～15:40 (90分)	認知症の理解と家族支援	講義・演習	養護) 幸生園 橋本主任生活相談員	認知症に関する基礎知識について確認し、適切な対応を学びます。また認知症の人を介護している家族のさまざまな心理について理解し、家族支援について考えます。



研修の様子
各入居系事業所に勤務する非常勤職員6名が参加。理念と職業倫理の重要性の理解、身体的拘束等の適正化と高齢者虐待防止について、介護の専門職として適切な介護サービスについて学んでいた。また、リスクマネジメント、認知症に関する基礎知識認知症の人を介護している家族心理について再認識されていた。